

科目名	特別講義 I Special Lecture I			担当教員	松山 哲也・田中 勝彦 (窓口教員;向谷光彦)		
学年	4年	学期	冬季休暇中	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	集中講義	科目番号	13134033	単位区分	学修単位
学習目標	地域学として斜面を中心としたコンクリート製品・構造物やため池堤体との関わりに着目する。構造力学, 土の力学, 水理学, コンクリート系の基礎科目で学んだ知識をより深め, 地域や地元に着目した実務に近い防災学を学ぶ。						
進め方	プリントを用いた講義を中心に, 最新のトピック提供や実物の実践的な観察, レポートを交えて学生の理解度を高める授業を行う。						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	1. プレキャストコンクリートに関する話題 (1) コンクリートと (3.5) プレキャストコンクリート製品 (2) プレキャストコンクリート製品とは (3) 自然災害とプレキャストコンクリート製品の対応 ～新潟県中越沖地震および東日本大震災のモニタリング調査事例を基にして～ (4) 自然災害に挑む取り組み (5) これからのプレキャストコンクリート (6) 総括 ----- [前半;小テストと課題提示] (1日目)			・プレキャストコンクリートに関する基本的な事項について説明できる。 E-1;基礎的な設計能力 E-2;防災関連の基礎知識			
	2. ため池に関する話題 (3.5) ～ため池の昔から今まで～ (1) 水の大切さ, 水事情, 節水・食料問題 (2) ため池序論;日本～四国～香川のため池事情と歴史 (3) ため池と湖沼, 生物, 調査 (4) 工事事例にみるため池学 (5) 新素材を用いた既存ため池の新改良法 (6) ため池底泥土の利活用事例 (7) これからの土木・建設・エネルギー・農業コンサルタント (8) 総括 ----- [後半;課題提示] (2日目) 成績確認(1)			・ため池に関する基本的な事項について説明できる。 E-1;基礎的な設計能力 E-2;防災関連の基礎知識			
評価方法	・前半:小テスト試験と最終レポート, 後半:最終レポートにより 50:50 で総合的に評価する。 ・全授業の出席を必須とする。各回の成績評価の内訳は, 小テストの内容および提出状況として 20%程度, 最終レポート内容を 80%程度として評価する。自学自習の課題等も含めて評価する。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは, 上記学習項目 1, 2 のそれぞれについて, 50%, 50% とする。 ・総合成績算出後, 履修者への成績確認を行う。窓口教員からそくせんにより個別に連絡する。						
履修要件	特になし						
関連科目	基礎力学 I (2年) → 構造力学 I, 基礎力学 II, 材料工学 (3年)			構造力学 II, 土の力学, 水理学, → 建築構造学, コンクリート構造 (4年) 地盤工学 (5年)			
教材	・別途, 出力したテキスト配布。製図, 構力, 土質, 水理, コンクリート構造の教科書, 電卓を持参すること。						
備考	*本科目は, 高等専門学校設置基準第 17 条第 4 項に規定する 45 時間の学修を必要とする内容をもって単位を認定される。窓口教員;向谷 (☎棟 5F, TEL 087-869-3921, mail: mitsu@t.kagawa-nct.ac.jp) 講師の都合により, 1 日目と 2 日目を入れ替えて実施することがある。						